

2026年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



食物アレルギー昔と今

以前は、食物アレルギーがあるとアトピー性皮膚炎になると考えられていましたが、最近は変わってきています。アトピー体質（遺伝的なアレルギー体質）を持つ人は、基本的には皮膚のバリア機能異常があると言われており、角質層の皮脂の分泌が少ないので、表面がざらざらしており、そこから食べ物やダニなどが侵入しやすいのでアレルギーになりやすいということです。昔は食物アレルギーは食べ物を食べてなるものだと思われていましたが、今は先に皮膚から侵入することによって体の中でアレルギーの抗体（IgE）が作られるとわかりました。赤ちゃんは湿疹が顔などにできやすく、その表面は荒れていたりします。そこから食べ物が侵入してアレルギーになるということです。赤ちゃんの皮膚を保湿剤やステロイドの軟膏できれいにしておくことで食物アレルギーになるのを防げるということもわかってきました。

アレルギーの診断ですが、昔は血液で食べ物（卵や牛乳など）のIgE-RAST抗体をよく調べていました。ただ、IgEが高くて実際には症状が何も出ない人もいるとわかりました。数値が高いと症状が出やすいというのはあるのですが、高くても必ずしも症状が出るわけではありません。食物負荷試験という食物そのものを与えてみて症状が出るかどうかを観察するという方法が一番確実な診断方法です。そのものを食べた時にじんましんなど明らかな症状があり、血液検査でもそのもののIgE値が高ければそれも診断根拠となります。

昔行われていたように母乳を与えているお母さんの食事を制限したり、離乳食で卵や牛乳を遅らせるということは意味がないとわかりました。制限していると逆に耐性ができないでアレルギーがなかなか治らない、むしろ早くからなんでも食べた方がよいということが言われ始めて、昔とは逆になりました。アメリカでは生後6か月からピーナッツ（せんべい）を与えることが奨められています。日本でも卵などを早く与えた方がよいと変わってきています。近年はナッツ類（クルミ、カシュー、ピスタチオなど。ピーナッツは豆類でナッツ類ではありません）のアレルギー子が増えています。

お腹が痛い

子どもがお腹が痛いと訴えると周りの大人たちは盲腸？食中毒？とハラハラドキドキです。夜間の救急外来でもよくある症状です。ただし、子どもの場合は便秘によることが多いです。便秘による腹痛は1日排便がなかっただけでも起こります。まずはトイレに行かせてうんちをさせてみてください。出なければ浣腸して便やガスを出せば楽になります。市販の浣腸液を家で試してみるのもよいでしょう。

ただし…

- うんちが出ても腹痛が治まらない
- 食欲や遊ぶ元気がなくぐったりしている
- 身体を丸めるような激しい痛みが定期的にある
- 嘔吐・発熱・下痢を伴う
- いちごジャムのような便が出た

という場合は受診したほうが良いでしょう。

（ゆっけ）

………感染症情報(9月1日現在)………

★新型コロナウイルス、インフルエンザA型が少しずつ出ています

★他はあまりはやっている病気はありません

★休診のお知らせ

9月5日(土)午後・9月26日(土)

9月18日(金)午後～24日(木)

★インフルエンザ予防接種の予約を開始しました

詳細は下記のアドレスまたはQRコードからご覧ください



<https://www.shujii.com/08343205>